

92. 岩手県釜石市大川原地区における居住地移動調査

(調査・研究)

実施時期又は期間

平成24年8月27・28日

対応部局及び人員

大学院地域社会研究科教員 1名

実施の背景・目的

東日本大震災の津波被災者の居住地移動の実態を明らかにし、居住の流動化や分散化を踏まえた被災地の再生を展望すべく、科研費（A）分担研究者（東日本大震災と日本社会の再建－地震、津波、原発震災の被害とその克服の道）で調査を実施。

実施概要

釜石市大川原地区に東日本大震災前居住していた全住民に対する被災後の居住地移動と復興に関する意向の聞き取り調査（今年度はプレ調査）。東京大学社会科学研究所希望学プロジェクト（釜石）の継承研究であり、東洋大学・早稲田大学・千葉大学との共同研究である。

効果又は結果

地区住民全員を対象とする居住地移動に関する聞き取り調査は研究および政策立案上、非常に重要だと考えられていながらも、この企画が東日本大震災被災地でも初めての試みであった。

今回の調査を踏まえ平成25年度科研費申請では、プレ調査を踏まえ本格的な調査を展開すべく応募した。

今後の課題

研究体制の整備

担当部局名

大学院地域社会研究科